



# 輝け！中央っ子

校訓（やさしく かしこく たくましく） 令和3年3月19日（金）

今年度のテーマ （好きです 中央！）

21号（文責）山口 公敏

## 【学校教育目標】

**あいさつ、そうじ、発表 そして笑顔 一人ひとりを大切にする 強くやさしい 中央っ子の育成**



2月26日（金）に第3回「中央小学校子ども育成会議」を行いました。この組織が基盤となって令和4年度のコミュニティ・スクール（学校運営協議会）組織になります。来年度はその移行期にあたります。地域とともにいる学校づくりを目指し、地域の方々が学校運営に携わることでより信頼される学校づくりを今後も目指していきます。



3月5日（金）に今年度最後の授業参観・懇談会を行いました。今年度は7月、12月と今回の3回の公開授業及びミニ運動会しか保護者に子どもたちの様子をお見せすることができませんでしたが、たくさんの方に来ていただき感謝しますが、たくさんの方に来ていただき感謝します。児童の成長を感じていただいたと思います。来年度も可能な限りの参加をお願いします。一年間大変お世話になりました。



7日（日）に中央地区協議会、よかまち中央会、スポーツ推進委員協議会主催の「歩け歩け大会」が中央小を発着とする三コースで行われました。私も4kmコースに参加しました。例年より参加者は少なかったのですが、中央小校区の良さを感じる時間となりました。



卒業式の練習が始まっています。いよいよ来週24日（水）は卒業式です。昨年度は休校中の卒業式でした。6年生は昨年卒業式に参加していない中で、今年自分たちの卒業式を迎えます。6年担任もしっかり考えた卒業式を企画しています。人数制限の中で今年も5年生は参加しませんが、卒業生には一生の思い出となるような卒業式にしたいと思っています。今、新型コロナウイルス感染拡大防止の中でできる精一杯のことを、みんなでやり遂げたいと思います。卒業生の皆さん、あと少しです。体調を整えて思い出に残る卒業式にしましょう。在校生の皆さんの思いもビデオで当日卒業生へ届けたいと思います。





東日本大震災発災十年となる3月11日（木）に、哀悼の意を表し、全児童で黙祷を捧げました。多くの犠牲者や行方不明者がおられます。私たちは震災を忘れることなく、未来に向かって歩いていかななくてはなりません。来月には熊本地震から5年を迎えます。復興道半ばの中、生きていくことの大切さを感じました。また多くの人や物に感謝する一日でもありました。

## 贈る言葉

荒尾市立中央小学校長  
山口 公敏

八十五名の卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。中学校生活へ向けて、夢と希望に満ちあふれていることと思います。ここで、卒業生の皆さんへはなむけの言葉を贈ります。

### 一 常に目標を持つ人間であり続けたい

一日一日をただ何となく過ごす日もあります。しかし、そんな日はそう長くは続きません。節目を通しながら、次の目標を自己設定し、目標に向かって頑張ることの方が、やりがいがあると思います。時々負けそうな時は、少し休んでまた目標に向かって挑戦してみてください。中学校では、部活もあります。友だちと一緒にいっぱい汗をかいて、一つのことに熱中してみてください。きっと楽しい学校生活が待っています。

### 二 努力の上に花が咲く

わたしの座右の銘です。自分自身物事を精一杯やり通すことで自分なりの花を咲かせることができます。精一杯やり遂げないと充実したとは言えません。ただ、自分自身のがんばりだけに目が向きがちなので、一つ、相田みつをさんの「根」という詩を紹介します。

「 花を支える枝      枝を支える茎      茎を支える根

根は見えねんだなあ 」

この詩を読んだある高校生は、自分はいつも花を追っかけてきたが、見えない部分を多くの人に支えてきてもらったんだなあ、と気づいたと語っています。日頃から感謝の気持ちを忘れずにとよく言いますが、妙にこの詩が心から離れません。精一杯努力し、大きな花を咲かせた後に、この詩を思い出してみてください。